

文部科学省におけるがん対策について

平成21年度予算額： 186億円
平成21年度補正予算額：175億円
(平成20年度予算額： 203億円)

戦略目標：我が国の死亡原因の第一位であるがんについて、研究、予防及び医療を総合的に推進することにより、がんの罹患率と死亡率の激減を目指す。

がんの本態解明

・科学研究費補助金
(特定領域研究5領域)
学横断的な発想と先端科学技術の導入
に基づくがんの本態解明の飛躍的推進
(H21予算額:45億円)

トランスレーショナル・リサーチ

・橋渡し研究支援推進プログラム
がんや難治性疾病等の重大な疾患に対する有望な基礎研究の成果を着実に実用化させ、国民へ医療として定着させることを目指す
(H21予算額： 24億円
H21補正予算額:12億円)

・分子イメージング研究プログラム
創薬プロセスの改革、疾患の診断技術等の開発を推進
(H21予算額:11億円)

革新的ながん治療法等の研究開発

・放医研におけるがん治療研究等
「重粒子線がん治療法」等の開発を推進
(H21予算額： 68億円
H21補正予算額:11億円)

・粒子線がん治療に係る人材育成プログラム
専門知識等を有する人材をオン・ザ・ジョブ・トレーニング等で育成(H21予算額:0.8億円)

・国立大学法人運営費交付金等の確保
大学におけるがん治療研究等を推進
(H21予算額:16億円)
等

大学におけるがんに関する教育・診療

がんプロフェッショナル養成プラン

がん医療の担い手となるがん専門医師及びがん
に特化した医療人の養成を行うための大学の取
組みを支援
(H21予算額:20億円)

医学部教育における取組

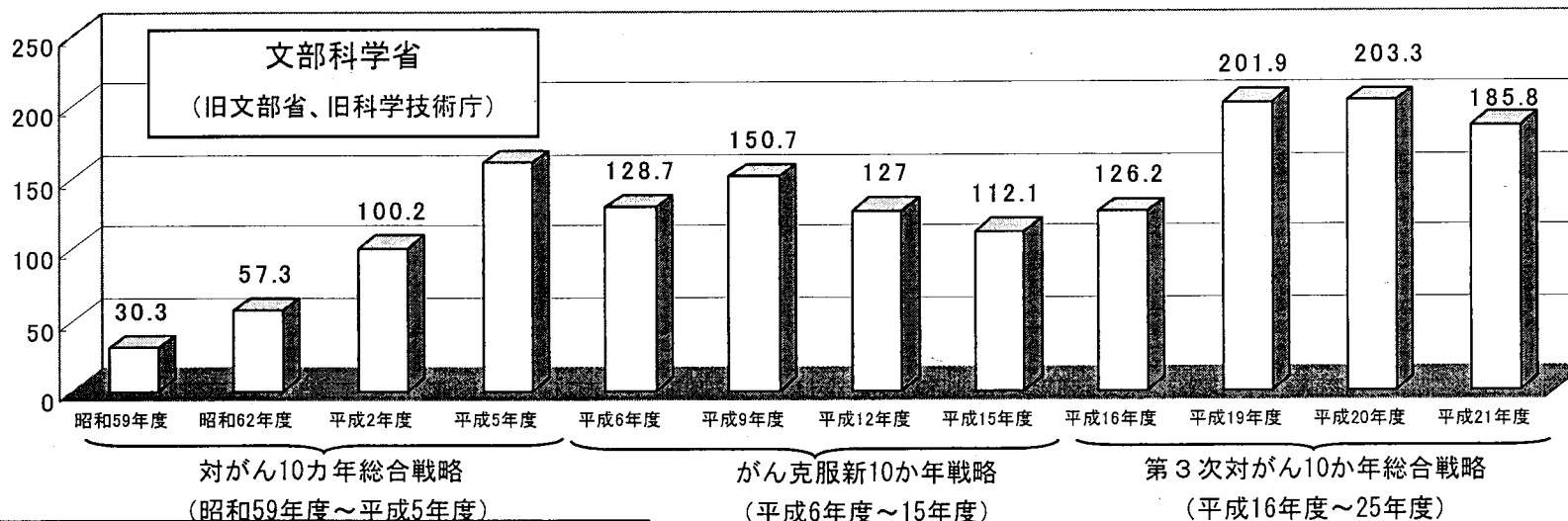
「医学教育モデル・コア・カリキュラム」
に基づくがんに関する教育の実施

大学病院における取組

がんセンター等の横断的ながん治療等を行う
診療組織や治療設備の整備・設置等による
診療の充実
(H21補正予算額:152億円)

①対がん戦略に係る当初予算額の推移について（文部科学省分）

予算額(億円)



②平成21年度予算額について(文部科学省分)

単位:億円

項目名	平成20年度予算額	平成21年度予算額 (平成21年度補正予算額)	増△減額 (当初予算比)
科学研究費補助金(特定領域研究5領域)	45.0	45.0	0
革新的ながん治療法の開発に向けた研究の推進(がんトランスレーショナル・リサーチの推進)	6.0	-	△6.0
橋渡し研究支援推進プログラム	17.5	24.0 (12.0)	6.5
分子イメージング研究プログラム	12.0	10.9	△1.1
粒子線がん治療に係る人材育成プログラム	0.8	0.8	0
がんプロフェッショナル養成プラン	19.0	20.0	1.0
放射線医学総合研究所におけるがん治療研究等(重粒子線がん治療研究、分子イメージング研究等)	74.3	68.5 (11.0)	△5.8
国立大学法人運営費交付金等の確保	28.1	16.1	△12.0
その他独立行政法人におけるがん治療研究の推進	0.5	0.5	0.0
国立大学付属病院の説部の整備(がんに係る治療機器の導入)	-	- (152.0)	0.0
合計	203.3	185.8 (175.0)	△17.5

経済産業省における主ながん対策関連予算について

がん対策関連予算平成21年度予算額: 101.5億円 (106.5 億円)

()内は平成20年度予算額

3. 創薬に向けた支援技術 49.9億円 (60.3億円)

○ゲノム創薬加速化支援バイオ基盤技術開発
28.0億円 (36.9億円)

がん等の病気の仕組みを遺伝子レベルで詳細に解析する基盤技術を開発し、疾患の仕組みの解明や治療薬の開発に貢献

○糖鎖機能活用技術開発 9.5億円 (10.0億円)
がん等の疾患の目印となりうる糖鎖の機能を解明し、疾患の仕組みの解明や早期診断に貢献

○新機能抗体創製技術開発 9.0億円 (10.0億円)
がん等の疾患に対する治療薬や診断薬等に応用できる抗体を効率的に作成する技術の開発

○個別化医療の実現のための技術融合バイオ診断技術開発
3.4億円 (3.4億円)

個人の遺伝的特性に基づく抗がん剤の選択や、がんの早期発見を可能にする画期的な診断技術の開発

○インテリジェント手術機器研究開発プロジェクト
6.0億円 (6.0億円)

手術中にがん細胞等の病巣部の位置や形状を正確に把握し最小限の切除で治療できる手術システム

○分子イメージング機器研究開発プロジェクト
8.3億円 (9.6億円)

がん等の疾患に特異的な生体分子の動き・特徴を捉え、超早期に発見する診断機器

○次世代DDS型悪性腫瘍治療システムの研究開発事業
4.3億円 (4.6億円)

がん細胞に抗がん剤を集積させ、活性化し、がん細胞のみを選択的に消滅させるシステム

2. イノベーションの創出・加速 33.0億円 (26.0億円)

○基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発
33.0億 (26.0億円)

先進医療技術を創出するために、医療現場のニーズに基づき、多様なバイオ技術など基礎・基盤研究の成果を融合し、円滑に実用化につなげる技術開発(橋渡し研究)を推進。文部科学省が実施する橋渡し研究の拠点整備や厚生労働省が実施する臨床研究事業と連携。

がん対策三大臣会合の対策強化検討課題 ～がんに負けない社会構築への挑戦～

経済産業省
作成・提出資料

3月19日(木)に開催された「がん対策に関する三大臣会合」等も踏まえ、政府一丸となってがん対策に関する施策を促進。



未来開拓戦略(Jリカバリー・プラン)・経済危機対策

【平成21年度補正予算】

がん等の戦略的分野における医療技術・医薬品・医療機器等の開発を推進する。

1. がん研究の促進

・がん関連の橋渡し研究等に対する集中的な財政支援

【経済産業省 (20億円)の内数】

【文部科学省 (12億円)の内数】

【厚生労働省(120億円)の内数】

2. バイオベンチャーの支援

・産業革新機構による、バイオベンチャーの有望な技術の大企業での活用を含む事業化支援等。

【経済産業省 財投会計(420億円)の内数】

【経済産業省 政府保証枠の設定

(8000億円)の内数】

3. 治験・臨床研究体制の整備

・大学と企業とが共同でがん治療技術の開発を行う拠点施設の追加整備及び研究成果を速やかに実用化するための治験体制の強化

【経済産業省(151億円)の内数】

【厚生労働省 (2億円)の内数】

4. 薬事審査の機能強化

・がん等未承認薬の承認審査体制の強化

【厚生労働省(40億円)の内数】